

第3学年 学級活動（1）指導案

令和3年11月25日（木）2校時

指導者 池田 里恵

1. 議題名 「都万っ子ミーティング～笑顔いっぱいの学級になるための議題を決めよう～」

（1）学級や学校における生活上の諸問題の解決

2. 議題について

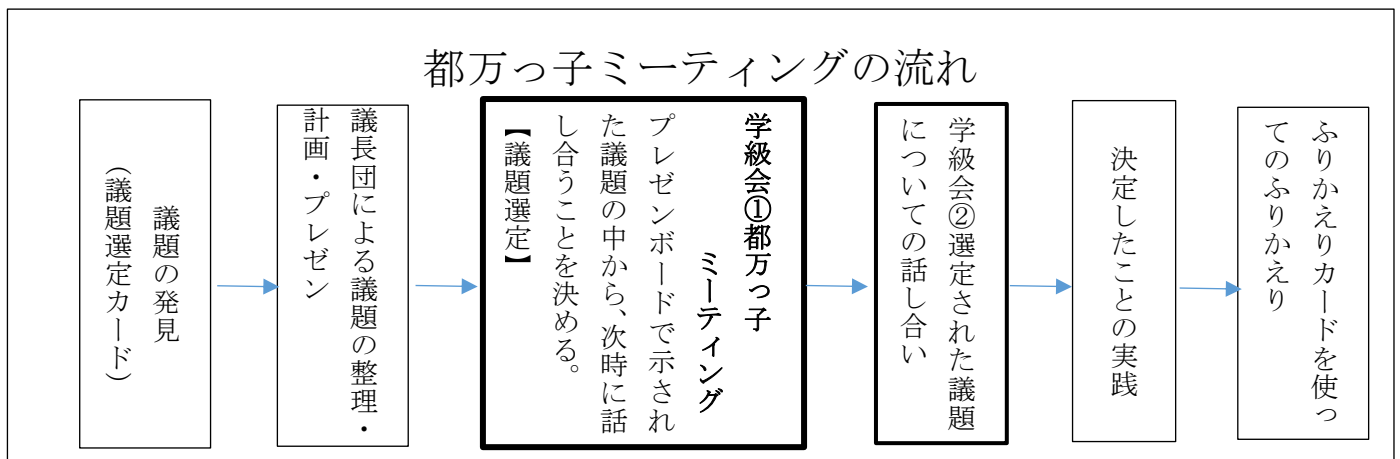
（1）児童の実態

【個人情報保護のため省略】

（2）議題設定の理由

今回は、「都万っ子ミーティング」の第2回として、全員で次の学級会で話し合う議題を決定する話し合いを行う。都万っ子ミーティングとは、以下の図に示したように、普段は事前の活動として行われる議題選定を、学級全員で行う話し合いのことである。また、決まったことを実践し、振り返るところまで行い児童にフィードバックするところまでを一連の流れとして取り組む。年に2回、全員でよりよい学級の姿を思い描きながら議題を選ぶ活動を行うことで、積極的に学級の諸問題の解決に取り組む子どもが育ち、よりよい学級集団づくりの実現につながると考えている。そして、学級全体で議題選定を行った経験が、その後の事前の活動において議長団の議題選定の際の主体的な態度へとつながることを期待している。

都万っ子ミーティングは、3年生から行うこととなっている。そのため第1回は、1学期の初めに議題選定のオリエンテーションとして、教師主導で一緒に考えながら進める形で行った。2学期に入り、子どもたちが議題提案カードをたくさん書くようになったことにより、議長団で議題選定をする際に、「どちらを先にしたらいいだろう」や「どれもいいから迷う」などという声が挙がるようになったため、第2回を設定することとした。第2回は、自分たちだけで進める初めての「都万っ子ミーティング」なので、児童も楽しみにしている。



(3) 指導について（研究との関わり）

本校の研究主題、目指す子ども像は次の通りである。

研究主題

「主体的に課題に取り組み、伝え合い高め合う児童の育成」

目指す子ども像

①主体的に課題に取り組む児童

- ・ 学ぶことに興味や関心を持って取り組む子
- ・ 見通しを持って、粘り強く取り組む子
- ・ 課題解決のために、様々な方法を考える子
- ・ 次につなげたり、実生活と結びつけたりする子

②伝え高め合う児童

- ・ 相手に分かりやすく伝える子
- ・ 相手の考えを分かろうとして聞ける子
- ・ 自分の考えと比べ、自分の考えを確かなものにする子
- ・ よりよい解決策を考えている子

都万っ子ミーティングを通して、特に上記の下線部で示した子ども像を目指している。

①主体的に課題に取り組むための手立て

主体的に課題に取り組む児童としては、以下のような姿が見られることを期待している。

- ・ 提案理由をもとに、自分の考えを持ち、その考えを自分の言葉でみんなに伝えようとする。
- ・ 自分と異なる意見も受け入れ、積極的に質問しながら話し合いをする。

★議題提案カード

議題提案カードには、議題を見付ける目が育つよう4つのポイントを示している。

- ①学級生活をさらに楽しくよりよくするための提案
- ②気持ちよく学級生活を送るために、こんなことをやってみたい
- ③みんなのため、友だちのためになること
- ④今すぐ話し合った方がよいこと（困っていること）

この4つのポイントを、議題提案カードだけでなく学級会コーナーにも掲示しておくことで、「～について話し合ったらいいと思う」と口にしたり、自ら議題提案カードを書いたりする姿が見られるようになってきた。また、1学期は、学級の課題に目が向く児童が多かったが、①～③の提案についても話し合い、実践することで、①～③の提案も増えてきている。

議題提案カード

（3）年 名前（まつい）が

学級会で、話し合いたいことを自由に書きましょう。

- ・ 学級生活をさらに楽しくよりよくするための提案。
- ・ 気持ちよく学級生活を送るために、こんなことをやってみたいなど。
- ・ みんなのため、友達のためになること。
- ・ 今すぐ話し合ったほうがよいこと。（こまっていること）

議題	かかり活動力さめ
提案理由	かかり活動をしたら学級が明るく楽しくなるから。

第1回の「都万っ子ミーティング」では、以下のような議題が挙がった。

- ・係活動を楽しむアイデアを出し合おう。
- ・あいさつをスーパーにするためにどうすればいいか考えよう。
- ・みんなで本をたくさんかりよう。
- ・帰りの会の名前を決めよう。
- ・じゃんけんゲーム大会をしよう。

今行っている取り組みの改善、また自分たちの課題に対する議題が主だったが、第1回以降に様々な話し合いを行ってきているので、幅広い視点での提案が出されることを期待している。

★議題選定カード

議長団で議題選定カードを活用して、集まってきた議題を整理する時間を設ける。まず、

- ・学級の生活がよくなる提案か
- ・学級のみんなのことを考えた提案か
- ・今すぐ話し合う必要がある提案か
- ・自分たちの力で解決できる提案か
- ・新しさのある提案か

の5つの観点で◎○△を付けていく。次に、それぞれの提案が①議題にする、②朝の会や帰りの会で話し合う、③係にお願いする、④先生に相談する、⑤その他（児童会へお願いなど）のどれにあてはまるかを考える。第1回の「都万っ子ミーティング」は、似た考えをまとめると5つの考えに整理され、全て議題の候補として提案することとなった。

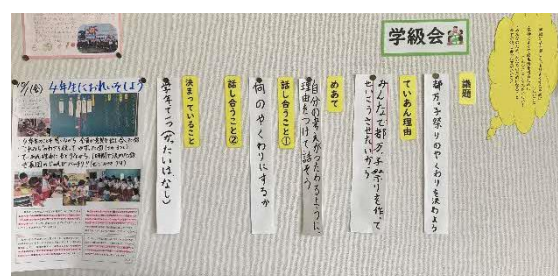
★学級会コーナー

議長団は、事前の話し合いが終わったところで、議題について決まったことを学級会コーナーに掲示し、帰りの会で学級全体に知らせるようにする。学級会に対する意欲が高まるよう、提案理由・めあて・決まっていることなども伝えておく。また、個人の学級会カードには、プレゼンボードを写真で示しておく。前もって知らせておくことで、友達の提案をしっかり受け止め、自分の考えを持って話し合うことができるようにしたいと考えている。

【議題選定カード】 (9) 月 (30) 日 (B) グループ

とてもあてはまる：◎ あてはまる：○ あてはまらない：△

議題の視点 出された議題	学級生活がよくなる提案か	学級のみんなのことを考えた提案か	今すぐ話し合う必要がある提案か	自分たちの力で解決できる提案か	新しさのある提案か	どこで解決するか ①議題にする ②朝の会、帰りの会 ③係へ ④先生に相談 ⑤その他
いいところのまねをしよう	◎	○	○	○	○	①
音楽発表会をしよう	◎	○	○	○	○	①
どっち中みしゅんあり	○	○	△	○	○	⑤
めあてをたて、朝の会、帰りの会	◎	○	△	○	○	①
4年生、音楽発表しよう	◎	○	○	○	○	①
マスクが1週間	◎	○	○	○	△	⑤



★振り返りカード

特別活動における「主体的・対話的で深い学び」の実現を考えたときに、学級活動では、事前～実践が終わった後に行う一連の活動の振り返りが大切になってくる。そこで、学級会カードの裏面に以下の5つの視点を示し、振り返りを行えるようにしている。

- ・活動してよかったこと
- ・自分や友達のよさはどんなところか
- ・自分の考えがどう変わったか
- ・友達の考えをどう生かしたか
- ・次の学級会で大切にしたいこと

活動してよかったこと、自分やともだちのよさはどんなところかは自己肯定感を高めるための視点、自分の考えがどう変わったか、友達の考えをどう生かしたかは合意形成に関わる視点、次の学級会で大切にしたいことは次の学級会への意欲につながる視点と捉えている。この視点を示すことで、振り返りが楽しかったなどの感想だけではなく、より具体的で深い学びにつながる評価ができると考える。

4年生におれいをしよう。

ふりがえりカード

名前：佐々木 星堂

よくできたところ：できたところ：もう一つ

ていあん理由の思いを考えながら活動できましたか	☐
自分のやくわりになせいにんを持って取り組むことができましたか	☐
友だちのよいところやがんばったことを見つけれましたか	☐

ふりがえり（活動してよかったこと・自分や友だちのよいことなどを書く）

自分の考えがどう変わったか・友達や先生のことを考えたか・次の学習会で大切にしたいこと。

さいしよのほうは、じゅんちやうにすすんでい
てたけど、決める時、いけんが、たう
な、てきました。一番、たうなのは、
いっしょに遊ぶで、ただ、い、そう、真
さん、が、休みの時間でもできる、とい
たら、あーとか、たしかに、とか、が、聞
こえてきたので、わたしも、な、とくま
した。そして、決めたのが、プレゼントをした。
せいこうして、良かったです。



また、次につながる活動となるよう、話し合いから振り返りまでの一連の活動をまとめ学級会コーナーに掲示している。

学級会の板書

学級会でよかったところや改善点

実践の様子（写真）

一連の活動の振り返り

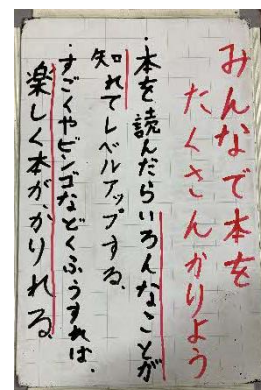
②伝え合い高め合うための手立て

伝え合い高め合う児童としては、以下のような姿が見られることを期待している。

- ・お互いの考えの相違点や共通点が分かり、提案理由に戻って考えを見直す。
- ・提案理由をもとに、自分もよくみんなもよいものとなるよう理由を比べ合いながら合意形成を図る。

★プレゼンボード

算数の時に行っている「ホワイトボードに相手に分かりやすく書くこと」を学活にも生かして、提案したいことや自分の提案のよさや売りを書いたものをプレゼンボードとしている。このボードを活用しながら、提案したい理由や具体的なイメージを伝えアピールをする。他の考えと比べやすくするために、大事なところに線を引くなど書き方を工夫させたい。



★合意形成のプロセス

学級会では、自分と異なる意見や少数意見も尊重し、できるだけ多くの意見のよさを生かす方法を考える姿をねらっている。安易に多数決で決定することなく、折り合いを付けて、集団として意見をまとめていくことが大切であると考えている。そのために、合意形成のプロセスの例を示し、1時間の中で話し合いが収束できるようにしている。

話し合いは、児童中心に行われるが、①人権上問題のある言動があった時、②自治的な範囲を超えている時、③意欲付けと評価をする時は、教師の出番として入るようにしている。

3年生は、話し合いの経験もまだ浅いので、話し合いが停滞している時、意見が多数出て整理ができない時、軌道修正が必要な時には助言することも考えている。

①合体 「サッカーと野球 どちらでしょう」 ・A+B → AB いっしょにできるような意見が いくつかあるとき 意見を組み合わせて 決定する。	②どれから? 「今週は、おにごっこ 来週は、かくれんぼ」 ・AとB → ①A ②B 賛成の多い意見が いくつかあるときに どれを先にしたいか 議論をつけてみる。	③これなら 「ルールを工夫したり 約束を決めたらいいよ」 ・A → A 決めた意見に 納得することがあるときに その意見に条件をつける。
「サッカー+野球 →キックベース」 ・A+B → C 賛成の多い意見が いくつかあるときに 両方のよさを取り入れた 新しい意見にする。	④少しずつ全部 「リレー、かくれんぼ おにごっこを少しずつしよう」 ・A+B+C → A+B+C 賛成の多い意見が いくつかあるときに どれも少しずつする。	⑤ゆずる 「友だちの意見を聞いて いいと思いました」 相手の考えのよさに納得して ゆずる。

3. 本活動の評価規準

よりよい生活を築くための 知識・技能	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をより よくしていこうとする態度
- みんなで楽しい学級生活をつくるために他者と協働して取り組むことの意義を理解している。 - 意見の比べ方やまとめ方を理解し、活動の方法を身に付けている。	楽しい学級生活をつくるために問題を発見し、解決方法について理由などを比べ合いながら合意形成を図り、協力し合って実践している。	楽しい学級生活をつくるために見通しをもったり、振り返ったりしながら、自己の考えを生かし、役割を果たして集団活動に取り組もうとしている。

4. 活動の流れ

日時	児童の活動	指導上の留意点	◎目指す児童の姿 【観点】＜評価方法＞
11/16 (火)	全員 議題提案カードを書く。 議長団 議題提案カードを回収し、議題を整理する。	・議題選定の5つの観点に沿って整理できるよう見守り、困っている時には助言する。	◎学級会の意義や議長団の役割、計画的な進め方などを理解し、話し合いの方法を身に付けている。
11/17 (水)	議長団 都万っ子ミーティングで提案するもの、そうでないものについて知らせる。	・議題選定の採用されなかった意見については、了承を得るなどして、どの考えも大切にできるようにする。	【知識・技能】 ◎議題について自分の考えをもち、話し合いに見通しをもちながら考え、表現している。
11/18 (木)	提案者 プレゼンボードの作成。 (提案者のみ) 議長団 学級会の進行の仕方を確認し、学級会カードの準備をする。 議長団 学級会コーナーに掲示する。朝終礼で知らせる。	・プレゼンボードには提案したいこと、考えのよさや売りを分かりやすく書けるよう助言する。	【思考・判断・表現】
11/22 (月)	全員 提案者の考えを受け止めながら、自分の考えを持ち、カードに記入する。		
11/25 (木) 本時	『都万っ子ミーティング』 全員 次の学級会で何を話し合うのか議題を選定する。	・議長団を中心に、本時の提案理由やめあてなどに沿って話し合いができるよう見守り、必要であれば助言する。	◎意見の比べ方やまとめ方を理解している。
11/30 (火)	全員 前時に決まった議題について話し合う。		【知識・技能】 ◎提案理由をもとに、自分の考えを持ち、理由を比べ合いながら合意形成を図っている。
11/30 以降	全員 話し合って決まったことを実践する。 全員 ふりかえりカードに記入する。	・自分たちで決めたことを自分たちの力でやり切れるように、見守ったり、声かけをしたりする。 ・一連の活動が次につながるよう振り返りを行い、交流する時間を設ける。また、活動の様子をまとめたものを学級会コーナーに掲示する。	【思考・判断・表現】 ◎合意形成したことに ついて、協力し合って実践している。 【思考・判断・表現】 ◎合意形成したことに ついて見通しをもったり振り返ったりしながら自己の考えを生かし、役割を果たして取り組もうとしている。
			【主体的態度】

5. 本時の展開

(1) ねらい 提案理由をもとに、自分の考えを持ち、理由を比べ合いながら合意形成を図ることができる。 【思考・判断・表現】

(2) 指導計画

第2回都万っ子ミーティング		令和3年11月25日（木）2校時	
議題		都万っ子ミーティング～笑顔いっぱいの学級になるための議題を決めよう～	
提案理由 （提案者 ）		1回目の都万っ子ミーティングは。先生と一緒にしたけど、自分たちの学級だから自分たちで決めて、笑顔いっぱいの学級（学級目標）にしたいから。	
司会グループ		司会 〇〇 副司会（ノート書記）〇〇 黒板書記 〇〇	
話し合いのめあて		自分の考えが伝わるように、理由をつけて話そう。	
決まっていること			
時間	話し合いの順序	指導上の留意点	◎目指す児童の姿 【観点】＜評価方法＞
5	1. はじめの言葉 2. 議長団の自己紹介 3. 議題の確認 4. 提案理由、めあて 決まっていることの確認 5. 担任の話	・特に大事にしてほしいことについては、担任が再度おさえて意識付けを行う。	
5	6. 話し合う （1）出し合う 提案者からのプレゼンテーション	・事前に行ったプレゼンボードを使いながら、提案したいこと、理由、さらにその提案のよさや売りを話せるように助言しておく。	◎提案理由をもとに、自分の考えを持ち、理由を比べ合いながら合意形成を図っている。
28	（2）比べ合う ①プレゼンについての質問 ②賛成意見、反対意見	・提案理由や、話し合いのめあてが意識できているかどうかを気を付けて見守り、必要があれば助言する。 ・意見が出にくくなった場合は、司会グループに「時間を設ける」「ペアで話し合う」などの方法を助言する。	【思考・判断・表現】 ＜観察＞
	（3）まとめる ①議題を1つに絞る。	・整理できず、議長団が困っている様子が見られる場合には助言をする。	
7	7. 決まったことの確認 8. ふりかえり 9. 担任の話 10. 終わりの言葉	・提案理由やめあてに沿ったよい児童の姿、議長団の頑張りという2つの視点からの評価を伝え、次時以降の意欲付けを行う。また、課題があれば、次回に向けて改善点も伝える。	

(3) 視点

- ・児童が主体的に取り組むための手立ては有効だったか。
 - ①事前の活動（議題提案カード・議題選定カードの活用・学級会コーナーの設置など）は、児童が主体的に話し合うために有効だったか。
- ・児童が伝え高め合うための手立ては有効だったか。
 - ①提案者がホワイトボードを使ってプレゼンテーションを行ったことは、友達の考えを比べやすくし自分の考えを確かなものにするために有効だったか。
 - ②事前に学級会カードで友だちの意見を知らせておいたこと、合意形成のプロセスの例を提示していたことは、よりよい解決策を考えるために有効だったか。